



豚ローソニアイントラセルラリス ELISA 検査のご案内



豚ローソニア イントラセルラリス感染症（ローソニア）には症状により急性型・慢性型・不顕性型の3つに分類されます（詳しくは裏面を参照下さい）。症状が目立つ急性型ばかりに目をとらわれがちですが、実は急性型は氷山の一角にすぎません。

弊社ではこの度、**ローソニア ELISA 検査**を開始しました。ELISA 検査により野外感染による抗体価の高さを読み取ることが出来ます。

ローソニアの浸潤状況確認の一助に ELISA 検査を活用してみてはいかがでしょうか？



ローソニア検査

・ **ELISA : 1,800 円 / 検体**

- ・ PCR(定量 ; 10 検体未満) : 10,000 円/検体
- ・ PCR(定量 ; 10 検体以上) : 7,000 円/検体
- ・ PCR(定性) : 6,000 円/検体

コンサルチームからのお知らせ

ローソニアは全国各地の養豚場に浸潤していることが知られています。ローソニアによる増殖性腸炎のうち慢性型・不顕性型においても栄養吸収を阻害し、経済損失が甚大なことに気をつけなければいけません。症状が無いからと自分の農場だけは大丈夫だと思っていないですか？

知らぬ間に飼料を無駄にし、発育停滞を引き起こしてお金を蝕まれているかもかもしれません!!

興味がございましたら**食環研コンサルチーム**にお問い合わせ下さい!!

豚ローソニアイントラセルラリス感染症の症状分類

臨床症状あり

急性型

肥育後期・繁殖候補豚

- ・突発的なタール様下痢便
- ・突然の死亡
- ・死亡率は50%に達することもある



慢性型

離乳～肥育後期

- ・増殖性腸炎、PPE、回腸炎
- ・軟便・下痢便
- ・体重のばらつき、発育不良



臨床症状なし

不顕性感染型

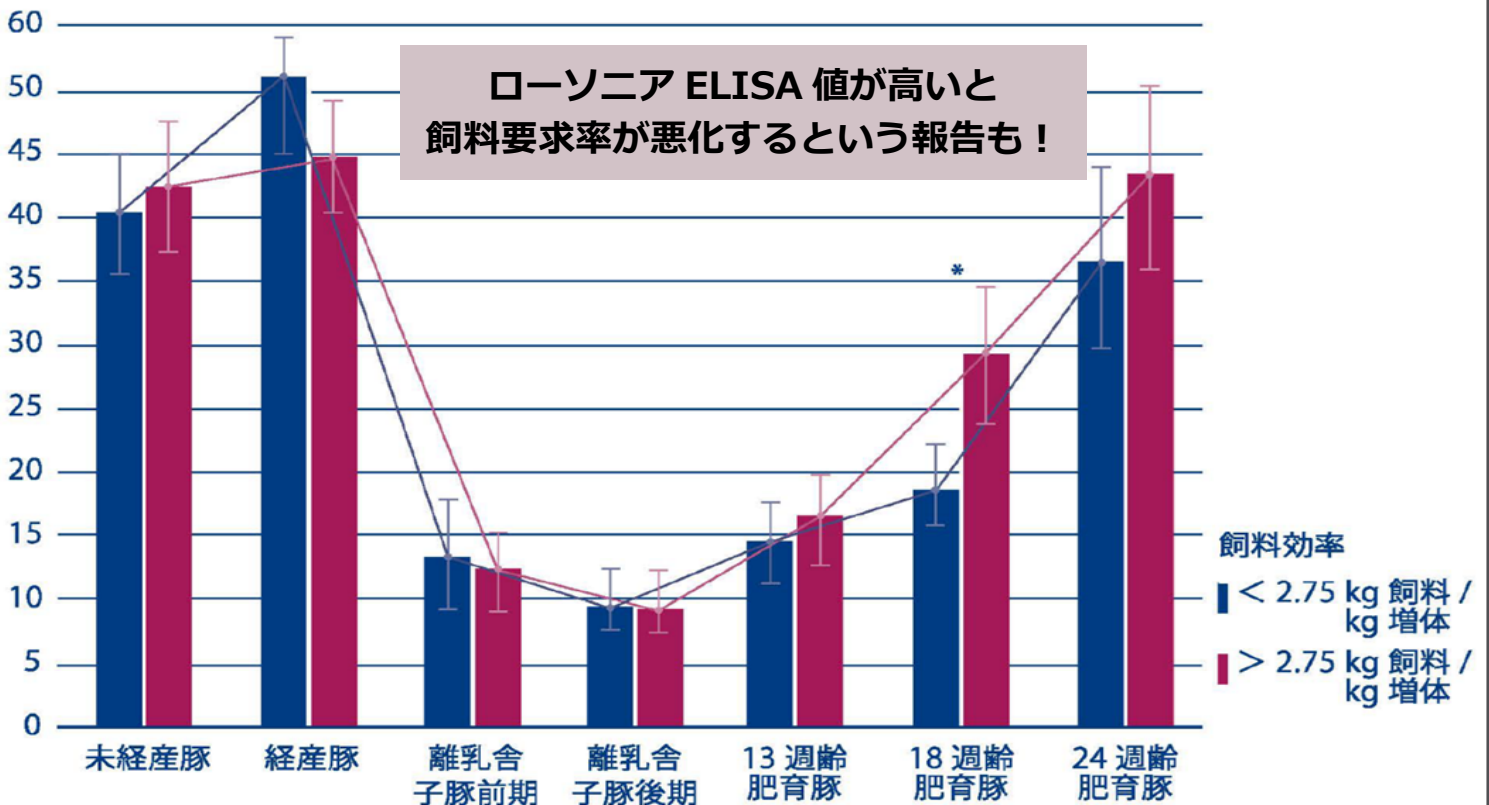
離乳～肥育後期

- ・便の異常などの臨床症状は明確ではない
- ・肥育成績の低下、ばらつきなどが認められる
- ・腸管の肥厚
- ・屠場での腸管廃棄が増加



図 2.1.7a
飼料効率の悪い農場 (>2.75 kg 飼料 / kg 増体) と比較した飼料効率が良い農場 (<2.75 kg 飼料 / kg 増体) の回腸炎 ELISA 値

ELISA 値



Gebhart, C.J.; McOrist, S. (1999):
Porcine Proliferative Enteropathies. Diseases of Swine.
8th Edition / Editors: Leman, A.D.; Straw, B.E., 38, 521-534.